

## 平成27年度第1四半期報告の概況について

三井生命保険株式会社（代表取締役社長 有末 真哉）の平成27年度第1四半期報告の概況について、以下のとおりお知らせいたします。なお、数値の詳細につきましては、本日付ニュースリリース「平成27年度第1四半期報告」をご覧くださいませよう、お願い申し上げます。

### 【契約の状況（個人保険および個人年金保険）】

- ◇ **新契約年換算保険料**は、一時払終身保険、医療保険および外貨建終身保険の販売が好調に推移したこと等により、前年同期比**5.5%増**の**91億円**となりました。
- ◇ **解約・失効率（年換算保険料ベース）**は、定額保険全体では引き続き改善したものの、金融環境の改善に伴い変額年金保険の解約が増加したことを主因として、前年同期から**0.11ポイント上昇**し、**1.25%**となりました。
- ◇ **保有契約年換算保険料**は、解約・失効・満期等による減少が新契約を上回っていることから、前年度末比**0.2%減**の**5,110億円**となりました。なお、中期経営計画で反転を経営目標に掲げている**定額保険部分の保有契約年換算保険料**は、前年度末比**0.2%増**の**4,206億円**となっております。

### 【主要収支の状況】

- ◇ **保険料等収入**は、一時払終身保険の販売が好調に推移したことを主因として、前年同期比**5.3%増**の**1,389億円**となりました。
- ◇ **基礎利益**は、予定利息負担の減少等により、逆ざや額は前年同期より改善したものの、変額年金保険等の最低保証に係る責任準備金戻入額の減少等により危険差益が減少したこと、および新契約の増加等に伴う変動費の増加により費差損益が減少したことから、前年同期比**18.0%減**の**77億円**となりました（最低保証に係る要因を除いた**基礎利益**は、同**12.1%減**の**52億円**）。
- ◇ **経常利益**は、前年同期比**26.8%増**の**106億円**、**四半期純利益**は、同**10.3%減**の**40億円**となりました。

### 【健全性の状況】

- ◇ **ソルベンシー・マージン比率**は、金利上昇に伴う内外公社債の含み益の減少により、その他有価証券の含み益が減少（＝マージン総額が減少）したこと、および株価上昇に伴う株式時価の増加により、資産運用リスク相当額が増加（＝リスク合計額が増加）したこと等により、前年度末から**19.8ポイント**低下し、**792.6%**となりました。
- ◇ **実質純資産額**は、金利上昇に伴う有価証券の含み益の減少を主因として、前年度末から**334億円**減少し、**9,583億円**となりました。

## 1. 契約の状況〔個人保険＋個人年金保険〕

(単位:億円、%)

区 分	平成26年度 第1四半期累計期間	平成27年度 第1四半期累計期間	前年同期比 増 減 率
新契約年換算保険料	87	91	+ 5.5

(単位:%)

区 分	平成26年度 第1四半期累計期間	平成27年度 第1四半期累計期間	前年同期差
解約・失効率〔年換算保険料ベース〕	1.14	1.25	+ 0.11 ポイント

(単位:億円、%)

区 分	平成26年度末	平成27年度 第1四半期会計期間末	前年度末比 増 減 率
保有契約年換算保険料	5,119	5,110	▲ 0.2
うち 保有契約年換算保険料(定額保険)	4,196	4,206	+ 0.2

- (注) 1. 年換算保険料とは、1回あたりの保険料について保険料の支払方法に応じた係数を乗じ、1年あたりの保険料に換算した金額です(一時払契約等は、保険料を保険期間で除した金額)。  
 2. 新契約には、転換による純増加を含んでいます。  
 3. 解約・失効の数値は、失効後復活契約を失効と相殺せずに算出しています。

## 2. 主要収支の状況

(単位:億円、%)

区 分	平成26年度 第1四半期累計期間	平成27年度 第1四半期累計期間	前年同期比 増 減 率
基礎収益	1,812	1,999	+ 10.3
うち 保険料等収入	1,319	1,389	+ 5.3
うち 利息及び配当金等収入	272	277	+ 1.7
基礎費用	1,717	1,921	+ 11.9
うち 保険金等支払金	1,377	1,552	+ 12.6
うち 事業費	235	238	+ 1.1
基礎利益 ①	94	77	▲ 18.0
逆ざや額	▲ 158	▲ 139	▲ 11.8
危険差益	252	227	▲ 10.0
うち 最低保証に係る要因 (注) ②	34	24	▲ 28.1
費差損益	0	▲ 9	—
キャピタル損益	▲ 19	50	—
臨時損益	8	▲ 21	—
経常利益	83	106	+ 26.8
特別利益	0	0	▲ 96.9
特別損失	5	9	+ 74.3
契約者配当準備金繰入額	38	40	+ 5.7
四半期純利益	45	40	▲ 10.3
基礎利益(最低保証に係る要因を除く) ①－②	60	52	▲ 12.1

- (注) 「最低保証に係る要因」は、変額年金保険等における次の金額の合計額です。  
 ・最低保証に係る一般勘定の責任準備金の繰入・戻入額  
 (平成26年度第1四半期累計期間: 20億円、平成27年度第1四半期累計期間: 9億円)  
 ・最低保証に係る保険料収入から、年金開始等に際して最低保証のためにてん補した額を控除した額  
 (平成26年度第1四半期累計期間: 14億円、平成27年度第1四半期累計期間: 15億円)

## 3. 健全性の状況

(単位:億円、%)

区 分	平成26年度末	平成27年度 第1四半期会計期間末	前年度末比 増 減 額
ソルベンシー・マージン比率	812.4	792.6	▲ 19.8 ポイント
実質純資産額	9,918	9,583	▲ 334
有価証券の含み損益(一般勘定)	5,902	5,507	▲ 394
うち その他有価証券の含み損益	3,038	2,912	▲ 126

以上